

当院における Upside down stomach を呈した食道裂孔ヘルニア症例の臨床的検討

2020年1月より2021年4月に当院でCT検査を施行され、食道裂孔ヘルニアと診断された患者さん

## 研究協力をお願い

当科では「当院における Upside down stomach を呈した食道裂孔ヘルニア症例の臨床的検討」という研究を行います。この研究は、2020年1月より2021年4月までに東京労災病院にて、CT検査を施行され、食道裂孔ヘルニアと診断された患者さんを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただき、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：当院における Upside down stomach を呈した食道裂孔ヘルニア症例の臨床的検討

研究期間：2024年11月5日～2026年3月31日

研究責任者：東京労災病院 消化器内科 中島一彰

### (2) 研究の意義、目的について

高齢化の進行により食道裂孔ヘルニアは近年増加している。その中でも食道裂孔ヘルニアに胃軸捻転が持続し、EGJより頭側に胃が位置した Upside down stomach(UDS)は比較的稀な疾患とされている。当院での食道裂孔ヘルニアと UDS の臨床的な特徴について検討する。

### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2020年1月より2021年4月までに東京労災病院にて、CT検査を施行され、食道裂孔ヘルニアと診断された患者さんのCT検査所見、内視鏡検査所見などを分析し、研究を行います。

この研究は、患者さんの以下の情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、BMI、骨粗鬆症や圧迫骨折の有無、CT検査所見、内視鏡検査所見、検査時の症状 等

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

東京労災病院 消化器内科 医員 中島一彰

〒143-0013 東京都大田区大森南 4-13-21

電話番号：03-3742-7301（代表） 内線：8224

メールアドレス：nakajimakazu2771@gmail.com